

令和4年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」自己点検・評価表

点検項目	基準	評価	根拠資料	評価理由
1. プログラムの履修・修得状況	すべての対象科目の履修者率と履修者基準の単位修得率がいずれも90%以上95%未満である	A	・学内資料(非公表)	単位修得率が基準を大きく上回った。
2. 学修成果	すべての対象科目の4クラス全体の平均点が成績評価の「良」の区分に入る	A	・学内資料(非公表)	基準を大きく上回った。
3. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	すべての対象科目の「科目達成度の点検」の自己評価平均が3.5以上4点未満である	B	・令和3年度の情報リテラシー、ものづくり実験実習J・C、系導入セミナーの「科目達成度の点検」の集計結果	基準をやや上回った。
4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	情報リテラシーの授業アンケートの「後輩学生への科目の推奨度」の質問で、推奨度が3.5点以上4点未満である	C	・令和4年度授業アンケート結果	アンケートにより後輩学生に履修を推奨できる科目かについて、学生から意見聴取することが求められる。
5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	履修率が90%以上95%未満である	A	・教育課程表	本校が指定した科目はすべて必修科目で学生の履修を推奨する仕組みとなっており、基準を大きく上回った。
6. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	学外アンケートの情報リテラシーに関する質問への肯定的な回答が75%以上80%未満である	-	-	令和5年3月時点で修了者はいない。
7. 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	産業界から意見を聴取し、学校全体で情報共有している	-	-	地域の外部有識者からなる運営諮問会議を3年に一度開催することになっており、令和5年度に本プログラムに関する外部評価を実施予定である。
8. 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	授業アンケートの中で、情報リテラシーの“この授業に意欲的に取り組みましたか”および“この科目の学習目的や意義を理解している”の質問と、系導入セミナーの“AIに興味が出ましたか”の質問への回答について、いずれも4クラス全体の評価点(5段階評価で5が最高)が3.5以上4未満である	C	・令和4年度授業アンケート	系導入セミナーに関する授業アンケートの質問項目に“AIに興味が出ましたか”などの項目を設け、学生の状況を把握することが望まれる。
9. 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	授業アンケートの中で、情報リテラシーと系導入セミナーの“授業の内容を理解できた”の質問と、ものづくり実験実習Jとものづくり実験実習Cの“知的な良い刺激を受け、興味を持って取り組めた”の質問について、各科目の4クラス全体の評価点(5段階評価で5が最高)が3.5以上4未満である	A	・令和4年度授業アンケート	基準を大きく上回った。

評価

A：点検項目の基準を大きく上回った、B：点検項目の基準をほぼ達成した

C：点検項目の基準を達成できなかったが、達成に向けての対応策が立案され、対応に着手している

D：点検項目の基準を達成できなかったことに加え、達成に向けた対応策が立案されていない